

令和8年度 中宮中学校 グランドデザイン

すべての生徒に、自分と社会を結びつけて考え、行動できる力を育成する

子どもの実態

- 素直で他者とつながろうとする姿勢が見られる
- 与えられた課題に積極的に取り組む生徒も多いが、自ら課題を設定し解決する経験が少ない

子どもの発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする子どもへの指導

- 個に応じた指導の充実
- 全教職員での組織的な対応
- インクルーシブ教育の理解と実践

めざす子どもの姿

- 人を大切にする生徒
- 自己決定したことに責任を持って行動できる生徒

豊かな人間性

- 違いを認め合い、自分も仲間も大切にする生徒
- あいさつや感謝の言葉を言える生徒
- 目標を持ち、実現のために努力できる生徒

健康・体力

- 規則正しい生活（栄養・睡眠・運動）
- 命・性・健康知識に関する知識の習得
- 清潔・安心・安全な教育環境の整備

資質・能力の育成

何ができるようになるか ○学校教育の基本

- 異なった考えや価値を認め尊重することができる（知る）
- 他者と意見交流することで考えを広げ深めることができる（つなげる・つながる）
- 自分の考えを的確な言葉で表現することができる（行動する）

何が身に付いたか ○学習評価を通じた学習指導の改善

- 異なった考えや価値を認め尊重している（知る）
- 他者と意見交流することで考えを広げ深めている（つなげる・つながる）
- 自分の考えを的確な言葉で表現している（行動する）

何を学ぶか ○教育課程の編成

- 学びの楽しさ
- 学びのつなげ方
- 学びの深め方

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- 知る＝課題と出会う
- つなげる・つながる＝情報を集めて整理・分析し、表現する
- 行動する＝自ら考えて行動する

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 「SDGs」をナビにした「総合的な学習の時間」を軸に教科等横断的な教育課程を編成する
- 教育目標を共有して学び続ける教職員集団となり、教科会・学年会などチームで「学びのデザイン」を作る

安心・安全を守る

- 災害や事故から身を守るための教育（避難訓練・防災教育）
- 豊かな人権感覚を育む ■施設の安全点検などの危機管理
- 子どもの健やかな成長のために、公的機関とも積極的に連携する

地域とともにある学校づくり

- 学校・地域・保護者が子どもの教育に責任を持ち、子どもとともに学ぶ学校